ながす議会だより
No.148

潮さい

長洲町議会ホームページ
過去の議会だよりや会議録をご覧いただけます。

二十歳の私へ

どんな大人になっていますか？

小学校に埋めたタイムカプセルを皆で掘り起こしました

令和3年
第4回（12月）定例会、第2回臨時会

一般会計補正予算等 ②〜⑤
中学校規模適正化に向けて ⑥〜⑦
新成人に聞く！ ⑧
一般質問　９人が登壇し町政を問う ⑨〜⑰
町民のひろば ⑱

コロナ禍のもと

事業を見直し、補正

可決

第４回定例会12月13日～16日（４日間）

町長から提案された専決処分、補正予算、条例改正、人事案件など10件を慎重に審議し、原案どおり全会一致で可決した。

また、一般質問は９名が行い、さまざまな角度から町の姿勢や施策を問いただした。

一般会計補正予算

3264万円を追加し総額 75億3066万円

主な事業

- **●健康管理システム整備事業** …… 377万円
  健診データを全国一律で統一し、情報連携するためのシステムの改修
- **●消防第6分団格納庫更新事業** …… 550万円
  建浜区内の建設予定地の土地の高さを道路に合わせ盛土を行うもの
- **●宮崎川災害復旧事業** …… 286万円
  8月豪雨で被災し、崩壊した堤防の復旧工事
- **●ALT(外国語指導助手)事業** …… △314万円
- **●町民体育祭等の中止** …… △ 90万円
- **●金魚まつり等イベントの中止** …… △455万円

新型コロナウイルス感染症の影響による事業見直し等のため減額

主な質疑

一般会計補正予算 歳出

問（竹本議員）コロナ禍の中、どのようにして事業計画や予算を修正すればよいのか、発想の転換をする必要があったのではないか。

答（まちづくり課長）予算編成等でも前例を踏襲するのではなく、新たな考えで取組んでいく視点は持っている。

問（磯野議員）農地と宮崎川の災害復旧工事のブロック積とはどういったものか。

答（建設課長）空洞ブロックではなく、通常石垣等で使用されるコンクリートブロックである。

令和3年度特別会計補正予算

国民健康保険特別会計

補正前の額……22億1200万円
補　正　額……　962万円
総　　額……22億2162万円

主な内容　低所得者に対する保険料負担軽減分の増額

後期高齢者医療特別会計

補正前の額……2億3240万円
補　正　額……　△369万円
総　　額……2億2871万円

主な内容　低所得者に対する保険料負担軽減分の減額

水道事業会計

収益的収入12万円追加し2億4675万円
収益的支出43万円減額し2億2029万円
資本的支出　3万円減額し2億3063万円
人事異動に伴うもの

専決処分

子育て世帯等臨時特別支援事業給付金	０歳から高校３年生までの子どもの保護者に対し、一人10万円を２回に分けて給付するもの。迅速に１回目の５万円を給付するため、町長が議会の議決に代わり決定したことを承認した。 扶助費（対象者2330人）　１億1650万円 システム改修委託料等　190万円

条　例

長洲町農地等災害復旧事業分担金徴収条例の制定	８月豪雨により、補助を受け災害復旧工事を行った農地等が対象。所有者等の分担金について定めたもの。
長洲町国民健康保険条例の一部改正	産科医療補償制度掛金と出産育児一時金の見直し。出産した被保険者に支給する出産育児一時金の額は変更なし。
長洲町営住宅条例の一部改正	町営住宅平原団地の老朽化による、新しい町営住宅の建設に伴い、改正するもの。 主な内容：①町営住宅の名称　高浜団地 位置　長洲町大字高浜1705番地１ ②新たに整備した駐車場の使用料等について

人事案件

教育委員会委員

坂本裕文氏（向野区）
令和４年２月15日～
令和８年２月14日

固定資産評価審査委員

中尾精徳氏（腹赤区）
令和３年12月26日～
令和６年12月25日

研修報告

11月４日に県の広報クリニックがオンラインで開催された。講師は議会広報ファシリテーターで熊本大学客員教授の越地真一郎氏。研修後は他町村とグループになり、互いの広報紙に対するコメントや指摘を行った。

「潮さい」の改善点として「一般質問が多くを占め、他の情報が希薄。」「議案審議がどのように進み、可決されたかが分かりにくい。」等の指摘があった。良い意見もいただいたが、もっとスキルアップして伝わる紙面作りに努めたい。

また、11月26日に全国町村議会議長会より提供された研修動画を視聴した。自治体広報アドバイザーの佐久間智之氏の『伝わる』広報紙であるために」という内容から、努力する糸口が見えてきたようだ。

他町村の広報も参考に

第２回臨時議会 11/25

令和３年度一般会計補正予算
1億8760万円追加

可決

情報格差をなくそう！

介護予防拠点でスマートフォン教室 200万円

高齢者を対象に、スマートフォンの使い方について個別相談で支援を行うもの。また、大学生等がサポートに入ることで、世代間交流と学生支援が図られる。

マイナポイント付与・申込支援 85万円	マイナンバーカードを申請した人へのマイナポイント付与が延長されたため、申込支援や広報活動を実施するもの。
ふるさと納税返礼品等 1億円	ふるさと納税（寄附額）の増加による事務費・返礼。
介護医療院開設の補助 7504万円	介護療養型医療施設から整備転換し、開設時から安定したサービスを提供するための補助。
公園の環境整備 1040万円	コロナ収束後に快適に公園を利用できるための高木剪定、遊具の安全確保。

マイナンバー

町内２医療機関に介護医療院が開設

質疑

問（竹本議員）マイナポイント付与の手続きも住民環境課でできるのか。

答（まちづくり課長）町全体で連携しているので、住民環境課窓口で手続きが完了する。今後も国の経済政策が見込まれるので、住民の視点に立ち対応していきたい。

専決処分

コロナワクチン追加接種

歳入
国庫負担金・補助金　４３０１万円

歳出
コールセンター、会場運営、ワクチン接種業務委託料　等　４３０１万円

３回目の接種が始まる

下水道事業会計

管路更生工事

劣化が判明した管路を、事故等を未然防止するために工事するもの。
【場所】高浜地内
【補正額】９７０万円

（常任委員会での質疑）

問（竹本議員）腐食が進んでいる管路がないか、計画的に点検しているか。

答（下水道課長）義務で行う重要管路点検は５年に１回。枝線の点検は自主的に行っており、来年度で全域が終わる。

より良い教育環境を求めて

～長洲町立中学校（腹栄中・長洲中）規模適正化に向けて～

近年、子どもたちのライフスタイルが大きく変わり、多様な子ども同士がふれあいや友人関係をつくるような、社会性を育む機会が減少している。

このような中で、町は現在の中学校の課題を解消し、より良い教育環境のあり方を考える大きな局面を迎えた。

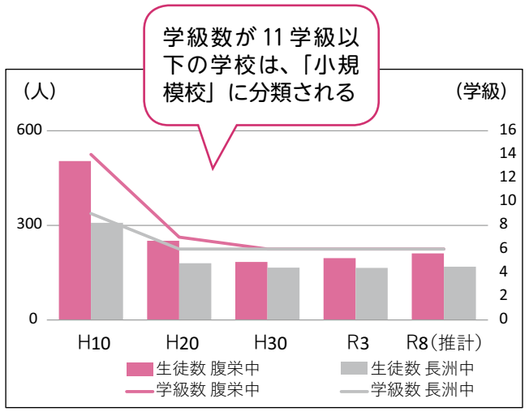
議会では、教育委員会が諮問した中学校規模適正化に関する調査結果について、以下のとおり報告を受けたのでお知らせします。

中学校の現状

生徒数の推移

平成10年度に比べ、生徒数と学級数は半減し、2校とも「小規模校」に分類されている。

12～18学級の規模が望ましいとされるが、今後も減少が見込まれる。



教職員の配置

学級数に応じて教職員が配置されるため、教員の加配があっても10教科すべてに配置ができない。

各校6学級の令和4年度現在は、技術科・家庭科等に専門の免許を持つ教職員が配置されていない。

非常勤講師や、他校の教職員が兼務で授業を行っている状況である。

専門の免許を持たない管理職等が指導する場合もある。

加配とは
国等の施策で追加配置される教職員

腹栄中

国	社	数	理	音	美	体	技	家	英
1	1	3	2	1	1	1	0	0	2

長洲中

国	社	数	理	音	美	体	技	家	英
2	1	2	2	1	0	1	1	0	2

令和３年度の教科担任人数

学校施設

校舎は２校とも築40年程度であり、老朽化が進んでいる。

建築年	
腹栄中（東棟）	昭和53年 ※令和元年に大規模改修済み
腹栄中（西棟）	昭和62年
長洲中	昭和58年

部活動

部活動入部率は年度により異なるが、部員が少ない。

※部活動の数は２校とも８部

部活動入部者	
腹栄中	146人（74.5%）
長洲中	89人（53.9%）

中学校の課題

【学習面】
- 生徒数が少ないため、交流の幅が小さい。多様な考え方に触れる機会や学びあい、切磋琢磨する機会が少ない。
- 配置される教員が少ないため、教科の免許を持たない教員による指導が生じている。
- 教職員一人当たりの業務が多く、負担が大きくなっている。
- 生徒の習熟度に分けて指導を行うなど、多様な形できめ細やかな指導を十分に行うことが難しい。

【生活面】
- 複数のクラス替えができず、人間関係が固定化しやすい。

【部活動】
- 部活動の選択の幅が狭まりやすい。
- チーム編成が困難など、活動に制限が生じている。

【その他】
- ＰＴＡ活動等の制限や、保護者の負担が大きくなっている。

規模適正化によって期待できること

- 人間関係に配慮したクラス編成ができる
- 生徒同士が切磋琢磨し、能力を伸ばしやすい
- 専門的な知識・経験を持つ教員が増え、授業の質が向上する
- 学校を核とした地域づくりの推進につながる
- 部活動が充実し生徒のモチベーションが上がる

「長洲町立中学校規模適正化調査委員会」からは、
腹栄中と長洲中を統合し、
新たな教育環境を早急に実現する必要がある
との報告書が出された。

議会はこの報告書をふまえ、今後も議論を重ねていきます。

特集

新成人に聞く！

若い世代は、町議会にどれだけ関心を持っているのか？新成人の皆さんにアンケートを実施し、町への要望や将来像、成人を迎えての抱負も自由にコメントをいただきました。

将来、どんなまちになってほしいですか？

- ●子供を産み育てやすいまち
- ●遊技施設が多いまち
- ●町から旅立った人たちが将来戻ってきたいと思うまち
- ●お年寄りに優しいまち

町に要望したいことは？

- ●もっと買物できる場所がほしい
- ●街灯と防犯カメラを増やしてほしい
- ●今のままの美しい町であってほしい
- ●若者が遊べる場所がほしい

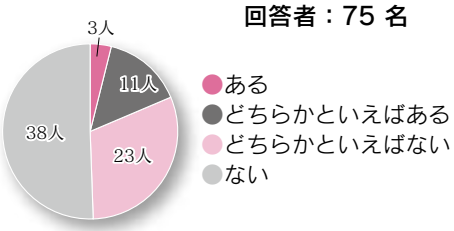
成人を迎えての抱負

- ●みんなに愛される人間になる
- ●立派な社会人になる
- ●責任ある行動をとれる人になる
- ●町の発展に貢献できるような人材になる

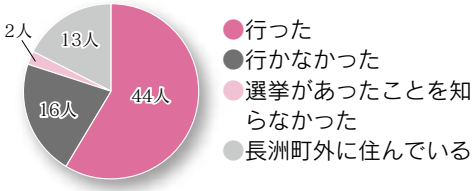
アンケート結果

回答者：75 名

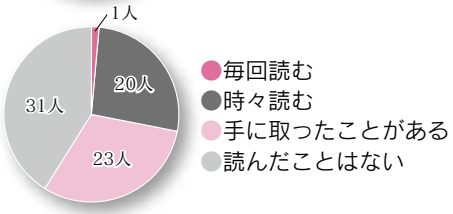
① 町議会に関心がありますか？



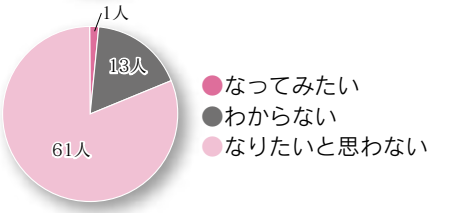
② 町議会議員選挙の投票に行きましたか？



③ ながす議会だより「潮さい」（年４回発行）を読んだことがありますか？



④ 将来、町議会議員になってみたいと思いますか？



新成人アンケートの全てのご意見はこちら⇒

タイムカプセル何入れた？

18才成人どう思う？

長洲町議会より

突然のアンケート依頼にも関わらず、ご協力頂いた新成人の皆さんにお礼申し上げます。若い方の生の声を聞くことができ、非常によい機会になりました。議会への興味を持っていただけるような議会だよりを作成していきたいと思います。

田成　護議員

日曜・祝日も一時預かりや学童保育を

答 ニーズを把握して対応を検討する

問 幼稚園・認定子ども園の一時預かりは、日曜や祝日も預かってもらえるのか。

答（子育て支援課長）平日のみの事業となっており、土日、祝日のお預かりは行っていない。

問 保護者の中には、日曜祝日に仕事があり、近くに祖父母等もいなく、子どもを預けられず仕事に影響がある人もいる。働き方も多様化し、いつでも預けられる環境を整えることで、子育て世代の定住化にもつながってくる。日曜祝日に保育が受けられる体制が必要ではないか。

答（子育て支援課長）保護者の働き方も多様化しており、これからの社会事情の変化を見据え、今後検討していく必要がある事業の一つとして捉えている。

問 子育て支援事業の中で、幼児期からICTに触れる環境があってもいいと思う。保育園等にタブレットを配付し、子ども達がICTに触れ、体験し、小学校へつなげていく取組を進めてはどうか。

答（町長）幼児教育の充実を考えると、保育園等でタブレットを導入しなければならないと考える。また、定住を進める上で、子育てや教育の充実が長洲町の取るべき姿だと思う。

幼児教育へのタブレット導入を！（イメージ）

幼児期の教育環境の充実を

問 小学校の学童保育では、低学年優先で4年生以上は入所できないという話を聞いたが、どうか。

答（学校教育課長）全学年を対象者として実施をしているが、家庭状況を審査の上、緊急性の高い低学年から入所の承認を行っている。入所できない子どもに対し、放課後子ども教室を週3回実施している。

問 共働きの家族やひとり親の家庭が増えており、日曜日や祝日でも仕事をしなければならない保護者もいる。日曜や祝日も学童保育を開所できないか。

答（学校教育課長）ニーズがあれば、運営費や保護者の費用負担を勘案しながら検討していく。

休日の開所を希望する

問 教育長はどのように考えるか。

答（教育長）少し仕事の時間を工夫してもらい、日曜など1週間に1日は、子ども達とふれあう時間をつくって頂きたいと強く思っている。そして、親子の絆を大切にし、健全な子ども達の育成が図られていけたらいいなと思う。

一般質問の原稿は、質問者の提出原稿をもとに一部校正しています。

前田美和子議員

地域のICT化をどう進めるか

答 住民に寄添い事業を展開する

問 町ではICT推進室を設置し、介護予防拠点においてもWi-Fi環境を整備したり、総合的なICT化を推進しているが、今後の取組は。

答 （町長）ズームでの健康体操や講話の配信、スマホ教室の実施、キャッシュレス化の推進等を行ってきた。今後も全行政区でスマホ教室等デジタル技術を活用したソフト事業を展開する。

オンラインで小学校と区の防災訓練

問 ICT化が進んでいる区では、げんきの館とオンラインで体操したり、複数の区と腹赤小学校で防災マイタイムラインを実施する等ができている。更なる推進のスケジュールはあるのか。

答 （まちづくり課長）高齢者のデジタルに対する理解を進める必要がある。スマホ教室等の充実、職員のデジタル技術の向上を図るよう取組んでいく。

問 今後は、どのように地域にデジタル化を根づかせていくかが大きな課題であり、この取組を区は求めている。デジタル支援員を配置してはどうか。

答 （町長）町民の皆様の利便性の向上、健康の促進、防災力の向上などICT社会で取組む必要がある。その一環として、支援員に説明員として地域を回ってもらうようなことを今後検討する。

マイタイムラインをどう普及させるのか

答 必要性は十分認識し支援していく

問 荒尾市と連携し防災士育成事業を行い、防災士の増加が図られたが今後の取組は。

答 （総務課長）これまで39名の防災士が誕生した。防災リーダーとして必要な知識、技術の熟練を目的とした研修の実施や情報提供を行い、引続き育成事業も行っていく。

問 地区防災計画は防災活動において重要だが、どのように策定を支援しているか。

答 （総務課長）駐在員会で説明とひな形を提供し、研修会に職員を派遣する等している。

自分がいつ、どこに避難するかを考えよう

問 県では一人一人の避難行動計画マイタイムラインの作成を進めている。早めの避難を行うには自分の避難スイッチを明確にすることが大事である。いつ、どの時点で、どこに避難するのかをシートに記入することが個々の防災の意識を高め、町全体の防災力を向上させると考える。マイタイムラインの普及をどう考えているのか。

答 （総務課長）必要性は十分認識している。自助の大切さの周知を行い、区や組織に対して作成の支援を行っていく。

林　敏哉議員

コロナ禍での健診率UPとPCR検査の充実を

答 周知・啓発を行い、検査は国等の動向を見る

問 令和2年度、国保の特定健診受診率が減少傾向にあるが、この原因は。

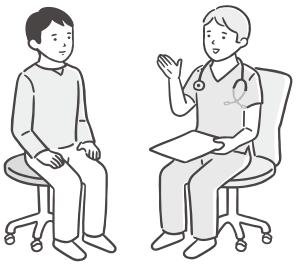
答（町長）新型コロナウイルス感染拡大に伴い、6月の集団健診を中止した影響が大きい。

問 健診委託事業者との交渉で年回数や日数の拡大、近隣医療機関からの出張健診等、受診率アップの為の対策が必要では。

答（福祉保健介護課長）まずは住民に対し健診受診の必要性についてしっかりと説明し取組んでいきたい。

問 第6波に備える上でも、不特定多数、無症状者に対して無料のPCR検査を求める。

答（町長）都道府県において、新型インフルエンザ特別措置法に基づき、感染に不安を感じる無症状者に検査を受けることを要請した場合でも、無料にすることが検討されている。



問 無症状者が感染源となり、感染拡大を引き起こしている。いくつかの自治体では独自で無料のPCR検査を行っているが検討できないか。

答（福祉保健介護課長）県に情報の確認をしながら、今後の国の状況等を見ながら検討する。

上沖洲整理川（水路）の定期的な浚渫を

答 豪雨時に支障がないよう対応する

問 豪雨時、堆積土砂が水路より新川漁港に大量に流出するが、直近の調査はいつ行われ、その結果はどうだったのか。

答（建設課長）直近では9月に調査をした。堆積土砂は確認したが、水路の通水の妨げになる量ではない。

問 堆積土砂の確認をしているのであれば、豪雨前後での経過観察を求めたい。

答（建設課長）豪雨前後での現状把握を行い、水路の流れに支障がある場合は必要に応じて浚渫等も考えていきたい。

問 水路樋門から新川漁港への埋設水路で、排水が地中に浸透し地盤沈下する恐れがあるが対策は。

答（町長）埋設水路の石垣は目地をコンクリートで補強し、海水の逆流はフラップゲートで対応し補修を行っており、損傷はないが、現地の経過観察を継続していく。

上沖洲整理川（水路）に堆積した土砂の浚渫（しゅんせつ）を求める

一般質問の原稿は、質問者の提出原稿をもとに一部校正しています。

福田史治議員

駅北側道路は通行量が多い、拡幅を！

答 警察と協議して検討していく

問 町道長洲港・停車場線の駅北側から建浜区に向かう道路は主要道路と認識しているが、幅員が狭く、雨の日の通勤・通学の時間帯に通行量が非常に多く、いつ事故が起きてもおかしくない。早急に拡幅できないか。

答（町長）建浜区内の未改良区間の幅員が狭いことは認識しているが財政状況もあり、まずは、交通量の多い通学路の土井辻線の交差点改良を優先して行いたい。

危険な狭あい道路を見逃すな

問 しかし、この区間は特に危険だと思っているが、どのように認識しているか。

答（建設課長）車道部分が４ｍ未満と狭く、通勤・通学の時間帯は危険であると認識している。

問 第６次総合振興計画では予定されてないが、計画はいつ頃になるか。

答（建設課長）用地等の問題や財政面など不確定要素があるので、時期は未定である。

問 特に危険だと感じるため、補修等何らかの対策ができないか。応急措置でも良いので対応を望む。

答（建設課長）警察とも協議を行って、歩行者の安全確保のため区画線等での車の誘導等ができないか検討していく。

ＡＬＴとタブレット導入の成果は

答 幼保小中で連携し一貫した英語教育を実践中

問 英語力の向上については、ＧＩＧＡスクール構想で配布したタブレットもあわせて活用することが有効だと思うが、具体的な成果は。

答（教育長）ＡＬＴとタブレット導入により、英語に対する興味や関心も高くなり、意欲的な態度が身に付きつつある。しかし、令和３年度学力調査によると学年が上がるにつれ興味や関心が低くなり、学力は低下している。聞く、話す力だけでなく、読む、書く力が必要。今後は、幼保・小中学校の一貫した教育を充実させ、コミュニケーション能力を主に学力の向上に取組みたい。更にタブレットを有効活用して学習内容の構築を図っていきたい。

問 英検で受験時に補助をしているというが、取得率は。

答（学校教育課長）60％～75％程度。年々合格者は増加傾向で、これまで約百名が受験している。

問 新しく就任したＡＬＴは、どのような授業を行っているか。

答（学校教育課長）小・中学校にそれぞれ配置し、ティームティーチングとして専科の教員・学年担任と授業を実施している。ネイティブな発音を復習し、正しい発音を身に付ける取組を重視している。

ＡＬＴとたくさん話そう！

竹本信次議員

町の人口減少に歯止めを

答 子育て・教育等を充実する

問 人口減少対策として、企業誘致や定住化・子育て支援に向け新しく「レインボーみやの」を整備する等、各分野で様々な取組を展開してきたが、人口減少に歯止めをかけることは出来なかったのか。

答（町長）空き家対策、新しい家の建設だけでは、定住が進まなかった。教育や子育てを充実しながら、総合的に人口を維持していく。

問 二〇三〇年度には想定人口が1万4千人を割込み、人口減少は避けられない状況である。子どもの出生数は10年間120人から130人で推移していたが、令和元年度93人、令和2年度100人と減少している。町長は、これから人口減で起こる危機をどう考えるか。

答（町長）人口減少の危惧は私も当然考えている。生産年齢人口（15歳以上64歳未満）が少なくなるほど企業も非常に苦労する。そういう中、どのような形で経済活動を維持していくかが町の課題である。

少子高齢化・人口減少が進む長洲町

行政手続きオンライン化の推進を

答 デジタル化施策を展開したい

問 DXとは、行政サービスのオンライン化によって、手続きなどのためにわざわざ時間を割いて来なくても済む町役場を目指すものである。国が進める長洲町DX推進5か年計画に向けて、どう取組んでいるか。

答（町長）国の令和3年度補正予算にデジタルに係る予算が計上されている。ICT推進計画を策定し、国の計画や施策等を念頭に置きながら、町に必要なデジタル化に係る施策をさらに展開していきたい。

DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

問 これからは、無駄なハンコをなくすなど、業務プロセスを見直すことで業務の無駄を削減し、本町の持続可能な財政運営の確立と町民サービスの充実という視点に立ち、DX推進による町行政経営改革の取組が必要ではないか。

答（町長）今後もデジタル化は急速に進んでいくと考えている。行政経営を進めていくうえで、ICTの活用は効果的、効率的であり、行政分野のみならず様々な分野において、デジタル化を積極的に推進していきたい。

一般質問の原稿は、質問者の提出原稿をもとに一部校正しています。

福本みや子議員

脱炭素社会への方向性と取組は

答 来年度に推進部署を設置する

問 地球上で気候変動が頻繁に起こり、気象災害が深刻化している。地方自治体も地球温暖化対策を策定する義務が課された。第6次総合振興計画にある安全・安心な環境にやさしいまちづくりをどのようにすすめていくのか。

答 （町長）安全・安心で自然豊かな住みよいまちを基本目標に位置づけ脱炭素社会を目指す。プラスチックゴミの対応策を有明広域行政事務組合で協議している。

地球は病んでいる！

問 実現に向けて具体的な取組の内容は。

答 （住民環境課長）地球温暖化防止対策実行計画を策定している。公共施設のCO_2削減として、照明器具のLED化、役場庁舎の空調設備改修を予定、公用車のエコカー導入等、主に取組んだ。具体的には公用車のガソリンのCO_2排出量は平成26年度からすると約18％の減少になった。

問 本町の産業構造、人口構成、自然環境等を想定して、今後の具体的な方向性に向けて考えや方針は。

答 （住民環境課長）自然環境保全に向けた継続的な取組を行うことが必要である。第6次総合振興計画の中で中高生へ魅力ある町について実施したアンケートでは、自然が多く、緑あふれる町、海がきれいな町等の意見があった。その声を反映させ、すすめていきたい。

問 学校給食で牛乳にプラスチック製ストローを使用しているが、ゴミ削減にむけて、新給食センターではどう取組むのか。

答 （住民環境課長）プラスチックゴミ問題は脱炭素のため早急に取組む課題である。学校現場と課題や方策を明らかにし、共有し環境教育に段階的に取組んでいきたい。

問 4月から使い捨てプラスチック製品削減を目指す法律が施行される。官民一体となり知恵を出して早急に取組まねばならない。SDGsの社会実現と安全・安心な未来を子ども達に手渡すため、脱炭素社会に向けて、宣言や担当部署の設置を提言したい。

答 （町長）この問題に対応するには大変な作業が想定される。まず来年度に脱炭素社会推進づくりに関する部署を設置し、この問題に取組んでいきたい。

この海を未来の子どもたちへ

磯野　博議員

公文書の電子媒体での保管の考えは

答 国や他自治体を見ながら検討していきたい

問 町文書規程において文書の取扱いが定められている。保存期間が最も長い30年とある、永年保管と永久保管のものは何が該当するのか。

答（町長）文書規程に取扱いの必要な事項を定めており、それぞれの保存期間満了時に廃棄または保存の延長を行うか判断している。

町の歴史と町民の財産！

問 永久保管はないのか。

答（総務課長）永年、永久保管は同じ意味の言葉で使用している。保存の区分で一番長いもので30年となっている。その保管期間の延長が積み重なり、永年的に保管している状況が生じている。

問 古いもので、いつからのものがあるか。

答（町長）財産に関するものは合併以前の長洲町及び腹栄村から引継いだ文書もあり、町の基本事項に関するもの、行政事務の重要施策に関するもの、工事関係の書類は合併以降のものが多くある。

問 本町の指定文化財の書類等で古庄文書と関文書があるが、これらの保管状況は。

答（生涯学習課長）それらは指定文化財として保存している。

問 公文書の一般公開はできるのか。

答（町長）町掲示板や広報紙、ホームページ等で公表されたものや、町の事務事業の遂行上必要なものを除き、町の情報公開条例に基づき対応している。

問 電子媒体での保管の考えは。

答（町長）現在、町の公文書は紙媒体が大半を占めており、その管理は職員の手作業によって行われている。そのため作業負担が発生し、文書の管理や検索等に時間を費やしている。公文書の作成、保存を一貫して電子媒体で保管することは、管理の効率化が期待できることから、本町においてもデジタル化の推進の取組を進めていかなければならない。今後、国や他自治体の状況を見ながら検討していきたい。

職務を遂行した職員の誇り（永年保管30年）

一般質問の原稿は、質問者の提出原稿をもとに一部校正しています。

浦邊朝章議員

長洲港周辺整備は

答 整備基本計画を策定、整備を進めたい

問 ①商工会館跡地及び長洲港周辺整備について。②みなと憩い広場は荒尾干潟と金魚と鯉の郷広場を結ぶルート上にあり、遊歩道の整備も必要である。長洲港は交通の要。それぞれの連携をどう図るか。

答（町長）①商工会館解体後の跡地を含めて海の玄関口にふさわしい整備が必要。港湾及び道路管理者の県や有明フェリー等と協議し、基本計画を策定、整備を進めたい。②荒尾市等と連携し、荒尾長洲地域資源活用推進協議会を設置して荒尾干潟水鳥・湿地センターと金魚と鯉の郷広場を結ぶウォーキングルートやサイクリングルートを整備した。また、有明海のフォトコンテストを実施する等、活性化を図っている。

期待が持たれる長洲港周辺整備

問 ウォーキングルート等の状況は。

答（まちづくり課長）荒尾干潟水鳥・湿地センターと金魚と鯉の郷広場を結ぶ約6キロを設定した。水飲場を整備し、案内看板を設置している。

問 フェリーターミナルも含め車や人の流れを図るべきだ。また、連絡道路として近隣市町村やJRとの接続も考慮していくべきでは。

答（まちづくり課長）いろんな角度からの検討が必要。今後、協議を進めていきたい。連絡道路としては、有明海沿岸道路が長洲港まで都市計画道路として決定した。

都市公園等の管理は

答 地元行政区へ委託等している

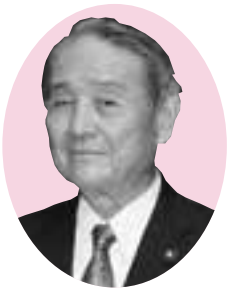
問 金魚と鯉の郷広場を含む公園等において①ペット連れの規制は。②不審者対策は。③公園の管理運営を外部に委託する考えはあるか。

答（町長）①都市公園では公園管理規則等で定め、ペット連れを禁止している。金魚と鯉の郷広場は多数の利用者があるため事故防止や衛生面から、公園内にペット連れ禁止の看板を設置し、周知している。②街灯により夜間でも明るく見通せるようにし、一部の公園には防犯カメラを設置している。③地元区へ公園施設の清掃及び樹木の管理委託等を行っている。都市公園全般の運営は町で実施している。

問 道路沿いの樹木が生い茂り、道路から公園内が死角になっている。

道路沿いの樹木は公園の死角

答（建設課長）公園内が見通せるよう今後の整備で対応していきたい。



濱﨑　久議員

漁港（新川漁港）の町民利用を優先に

答 条例改正や協議できる場の設置を要望する

問 他市町の者が利用する漁港が、当町行政区内に存在することは合理的でない。長洲住民が利用できる港に使用目的を変更すべきではないか。

答（町長）漁港漁場整備法に基づき、玉名市と長洲町にわたる漁港として県が指定し、玉名市が管理している漁港だ。ご提案のような漁港の利用について、玉名市に条例改正や協議の場の設置を要望している。

問 この新川漁港は、文久2年に石積により堤防岸壁を築き、慶応元年防波堤を築堤し漁港とされている。昭和5年にこの防波堤をコンクリート工法により改築し、昭和38年海岸保全事業により、上沖洲地先の堤防新築、物揚場、水門を改築し、昭和43年3月まで大部分が完成と記されている。長洲の住民が文久2年から新川漁港に力を注いできたが、腹赤漁協解散により町長答弁の状態になり、長洲住民として長洲の領土を他市町から占有された気がする。昭和62年議会議事録には、当時、長洲港改修中で長洲の漁船が新川漁港に台風避難を断られたと悲痛な記録が残されている。新たな漁港、あるいは、レジャー港など定住構想を考えてはどうか。

答（町長）新川漁港の歴史など、る申された。今後、新川漁港のあり方について、ご意見を含めて協議する。

港内のヘド口浚渫を

ヘド口浚渫も

答 玉名市に要望する

問 新川漁港内にヘド口が堆積する現状は直ちに浚渫すべきだ。新型コロナウイルス感染症対策上好ましい状態とは言えない。第6波が懸念される今日、苦い経験を持つ当町としては、二度と感染再拡大は絶対あってはならない。

答（町長）港内に堆積したヘドロの浚渫についても玉名市に対して要望する。

問 ヘド口堆積の原状回復の早期実施を町長に期待する。

新しい漁港の考え方を

一般質問の原稿は、質問者の提出原稿をもとに一部校正しています。

町民のひろば

町民の声

松本　舜さん（松原区）

マラソンの新しい楽しみ方を見つけました。それは孫たちと走ることです。

マラソン大会に出場するのは今年で３回目でした。私と息子、小４と小２の孫の三世代４人で走りました。

最初に出場したときは、歩いたり泣いたりしてやっとゴールしていた孫でしたが、今年、とうとう小４の孫が私を抜きました。

来年は孫に勝てるように頑張ろうと思います。

地域リポート

磯町区の朝

橋の下に近所の仲間が集まり、朝日と潮風を受けながらラジオ体操が始まるのが、磯町のいつもの風景だ。それが終われば一時間程度のウォーキング、気候が良い時期は手作りの椅子に腰かけ、おしゃべりタイムが始まる。時には空き地の草取りや清掃に汗を流している。もう何十年も続いている朝のひと時である。

地域の人達が集まり、グランドゴルフ等思い思いに楽しい朝の時間を過ごしている。これが町を支える原動力になっているのではないだろうか。

ひと言

繰返し押寄せる新型コロナウイルス感染の波に、身も心も疲弊しがちである。その中で、重症化率の低下や薬の開発等、明るいニュースも見られるようになった。今年は成人式も感染症予防対策を実施した上で行われた。新成人の、久しぶりに友達に会った時の笑顔や、式当日の晴れやかな姿を見て、元気をもらったような気がする。早くアフターコロナの生活になることを期待して、今日も頑張ろうと思った。

（田成）

皆さん傍聴に出てこんね！

次の定例会は

3月7日（月）

開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先
議会事務局
電話　78-3291

手続きは住所・氏名・年齢を書くだけです

広報委員
委員長　荒木　睦子
副委員長　福田　史治
委員　田成　護
委員　前田美和子
委員　林　敏哉
委員　福本みや子
委員　濱村　芳光

発行責任者
議長　福永　栄助

発行責任者　議長　福永栄助
編　集　広報調査特別委員会

〒869-0198 熊本県玉名郡長洲町大字長洲2766
TEL 0968-78-3291
FAX 0968-78-1092

「ながす議会だより 潮さい」は 長洲町議会 検索 でもご覧になれます。